

差出人: csih@googlegroups.com は 橋本英樹 <hidekih@wine.plala.or.jp> の代理
送信日時: 2020年7月20日月曜日 13:54
宛先: csih@googlegroups.com
件名: [CSIH:200] 中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2020年7月20日発行
添付ファイル: YS-11(1).JPG; YS-11(2).JPG; YS-11解説.JPG

◆ 中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2020年7月20日発行 ◆

【中部産業遺産研究会の入会案内はこちら】
<http://csih.sakura.ne.jp/nyuukaiannai.html>

【中部産業遺産研究会のホームページはこちらから】
<http://csih.sakura.ne.jp/index.html>

【中部産業遺産研究会の書籍のご案内】
<http://csih.sakura.ne.jp/syoseki.html>

【CONTENTS】

【1】中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定

【2】「YS-11」量産初号機公開プロジェクトと国立科学博物館によるクラウドファンディングの実施について

【1】中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定

- 第166回定例研究会 2020年9月20日 日曜日 名古屋市民活動センター
所在地 : 名古屋市中区栄3-18-1 ナディアパーク デザインセンタービル 6階
集会室
電話 : 052-228-8039
交通機関 : 地下鉄東山線「栄駅」7, 8番出口より徒歩7分
地下鉄名城線「矢場町駅」5, 6番出口より徒歩5分
注意事項 : 集会室の入り口で非接触型体温計で測定する、アルコールで手を除菌する。
(センターからカゴに準備されている)

【2】「YS-11」量産初号機公開プロジェクトと国立科学博物館によるクラウドファンディングの実施について

国立科学博物館は、我が国唯一の純国産民間輸送機であるYS-11量産初号機を羽田空港の格納庫において20年にわたって整備・保管してきました。

この機体は、先行の2機の試作機を基に改良を重ね、量産化に道筋をつけた1号機で、1964年に現在の県営名古屋空港で初飛行したものです。そのご運輸省（当時）が空港の灯火や誘導施設の検査に使い、1998年に引退、1999年に国立科学博物館が引き取りました。

この機体は「YS11のなかでも特に記念碑的価値の高い機体」として、日本機械学会が「機械遺産」に認定しています。

また、2010年の民主党政権時代には、事業仕分けでやり玉にあげられたということもあり、国立科学博物館と蓮舂参議院議員との間で激論が交わされましたが、何とか、それはくぐり抜けました。

しかし、今年度から羽田の格納庫の使用料が大幅に値上がりすることとなり、羽田からの撤退を余儀なくされました。

そこで本機をより多くの方に見ていただけるように、2021年春から、テーマパーク「ザ・ヒロサワ・シティ」（茨城県筑西市）にて一般公開する予定です。既に、ザ・ヒロサワ・シティに解体、移設されており、現在、期待の組立作業が行われています。ただし、航空法の規制により、再び本機が空を飛ぶようなところまでの整備はできません。

しかし、昨今の新型コロナウイルスの影響による国立科学博物館の臨時休館や入場者数制限のため、入館料収入が激減し、国立科学博物館の財政状況が悪化しており、YS-11を組立てるための資金が不足しています。そのため、クラウドファンディングにより資金を募ることとなりました。

そこで、中部産業遺産研究会でいつも大変にお世話になっている国立科学博物館 産業技術士資料情報センター長の鈴木一義先生から、できるだけ多くの皆様から、「YS-11」量産初号機公開プロジェクトのクラウドファンディングに協力して欲しいということで、この情報を広く伝えて欲しいと言うことでご依頼頂きました。

このプロジェクトについては、下記のホームページに詳細がございますので、一度ご覧下さい。
なお、このクラウドファンディングでは、寄付金額よりリターンが異なります。詳細は

https://a-port.asahi.com/projects/kahaku_ys-11/
をご参照下さい。

国立科学博物館プレスリリース

<https://www.kahaku.go.jp/news/2020/YS-11/>
<https://www.kahaku.go.jp/procedure/press/pdf/300115.pdf>

その他の情報

<http://www.asahi.com/special/playback/TKY201004260532.html>

この量産初号機は、主翼の取り付け角度を変更した形跡も残るものであり、かつての技術者が失敗と試行錯誤を重ね、成功にたどり着くまでの記録でもあります。
我が国の戦後復興の象徴ともいべき貴重な記録を後世に伝えるため、皆様のご支援をお願いいたします。

なお、7月26日まで、ザ・ヒロサワ・シティにおいてYS-11の修復作業の公開をしております。
安全率を6とした機体構造が尾翼取り付け前の機体の後ろから見る事ができます。
解説は、鈴木一義先生による貴重なものです。
(添付の写真は、7月13日午後に撮影したものです)
コロナウイルス感染症の問題がありますが、もしも可能な方は一度ご覧下さい。



中部産業遺産研究会のニュースレターは電子メールアドレスをお持ちの会員の皆様に
Google グループのメーリングリストのシステムを使って配信しています。

配信元：中部産業遺産研究会 会報編集委員・広報幹事 橋本 英樹

Home Page URL : <http://csih.sakura.ne.jp/> E-mail : hidekih@wine.plala.or.jp Copyright 2002-2018 The Chubu Society For The Industrial Heritage, Allrights reserved.



このメールは Google グループのグループ「中部産業遺産研究会」の登録者に送られています。
このグループから退会し、グループからのメールの配信を停止するには csih+unsubscribe@googlegroups.com にメールを送信してください。
このディスカッションをウェブ上で閲覧するには、
<https://groups.google.com/d/msgid/csih/001001d65e51%24c9e79e50%245db6daf0%24%40wine.plala.or.jp> にアクセスしてください。



